

to + 動詞の原形

この形のことを、「不定詞(ふていし)」と呼びます。

そして、

動詞の ing 形

この形のことを、「動名詞(どうめいし)」と呼びます。

※動詞の ing 形は「現在分詞(げんざいぶんし)」という呼び名もあり、
細かく言うと「動名詞」と「現在分詞」は意味が少し違います。これについてはまた後ほど。
とりあえず、「動名詞」も「現在分詞」も、動詞の ing 形のこと ね♪

(^▽^)< このプリントでは、不定詞と動名詞の「関係」を見ていきますよ。

大きく分けると、

- ① 不定詞と動名詞が「同じ役割」をする
- ② 不定詞と動名詞を「使い分け」なければならない という2つの場合があります。

① 不定詞と動名詞が「同じ役割」をする

つまり、

to + 動詞の原形 = 動詞の ing 形

＼(^o^) このように考えて良い場面。

「不定詞(to + 動詞の原形)」の解説プリントの中の、その2 : 名詞的用法 を思い出してみてください！



to + 動詞の原形 が「～すること」という意味だったよね。

動詞の ing 形も、「～すること」という意味を表す時があります。

(・▽・;) ということは…？

「～すること」という意味じゃない時もある、ってこと…？



正解～！ 動詞の ing 形が「～すること」という意味の時は、「動名詞」と呼ばれるの。

{ ちなみに、同じ「動詞の ing 形」でも、
「～すること」ではなく「～している」という意味で使われる時があり、
その時は、「動名詞」ではなく「現在分詞」と呼ばれます。
このプリントでは動名詞について見ていくよ。
※「現在分詞」については、「進行形」「修飾という考え方」のプリントに出てくるよ(^o^)